

第80期中間報告書

2019年4月1日⇒2019年9月30日



証券コードNo.2806

「人・食・味を豊に」



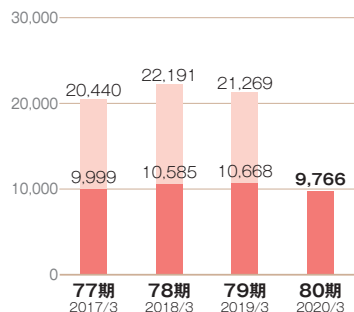


決算ハイライト

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

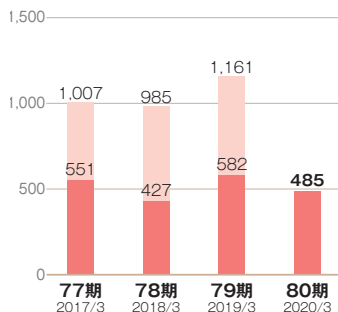
売上高

(単位:百万円)



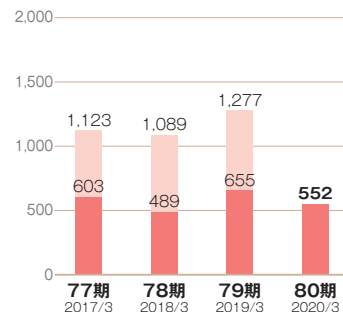
営業利益

(単位:百万円)



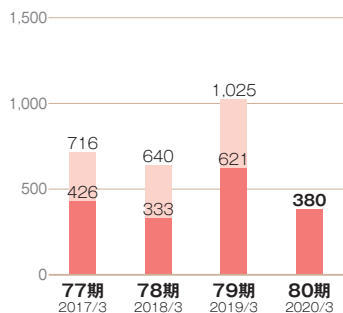
経常利益

(単位:百万円)



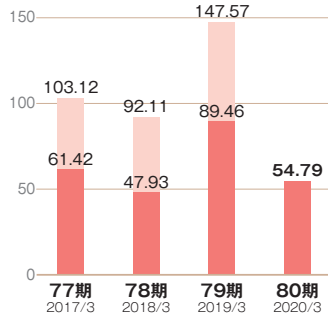
四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



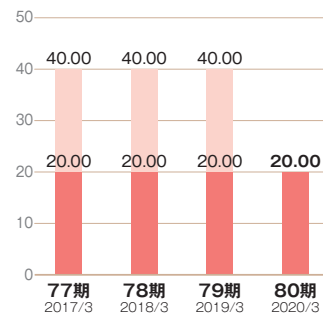
1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)



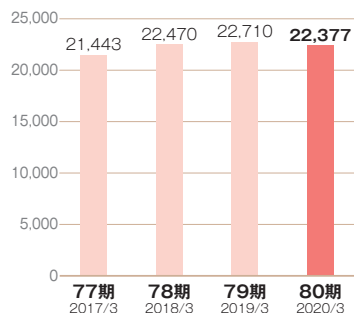
1株当たり配当金

(単位:円)



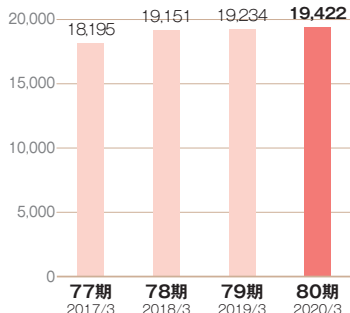
総資産

(単位:百万円)



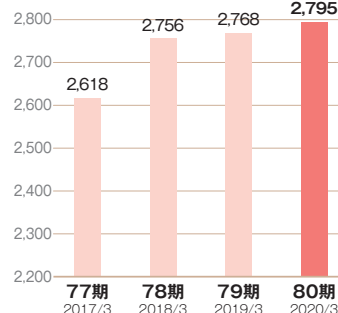
純資産

(単位:百万円)



1株当たり純資産

(単位:円)



株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第80期第2四半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 **橋本 淳**



当第2四半期の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続いておりますが、個人消費は節約志向の傾向が強く、海外においては米中の貿易摩擦の激化による中国経済の減速懸念、さらに、地政学的なリスクの再認識や米国の金融資本市場の変動など世界経済の下振れリスクが多数存在し、先行きは依然として不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する

関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の売上高は9,766百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は485百万円（前年同期比16.7%減）、経常利益は552百万円（前年同期比15.7%減）、四半期純利益は380百万円（前年同期比38.8%減）となりました。

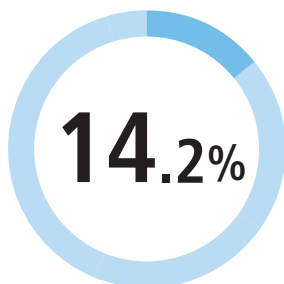
セグメント別の概要

チルド食品 部門

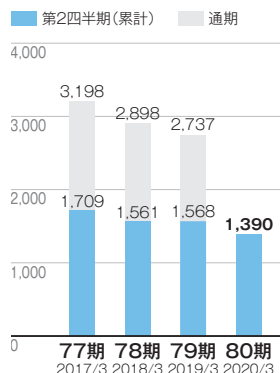
チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は1,390百万円(前年同期比11.3%減)、セグメント利益は174百万円(前年同期比6.9%増)となりました。



売上構成比



セグメント売上高

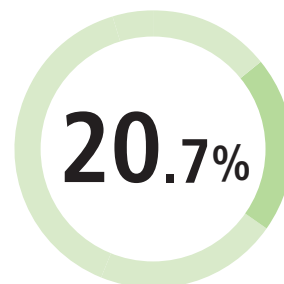


粉粒体食品 部門

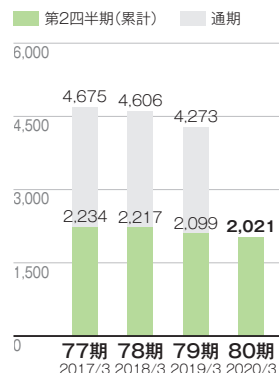
粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は2,021百万円(前年同期比3.8%減)となり、7月より鳥取工場にて新工場の稼働に伴う償却費及び諸経費の増加により、セグメント損失は21百万円(前年同期は29百万円のセグメント利益)となりました。



売上構成比



セグメント売上高

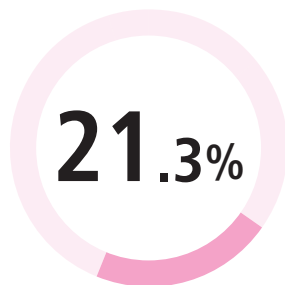


液体調味食品部門

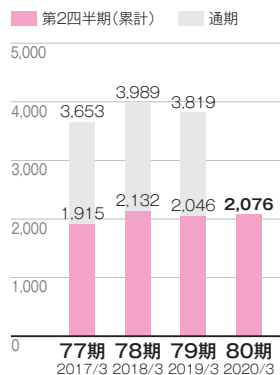
液体調味食品部門は、加工醤油の売上が不調となりましたが、調味液が前年を若干上回り、売上高は2,076百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は208百万円(前年同期比3.1%減)となりました。



売上構成比



セグメント売上高

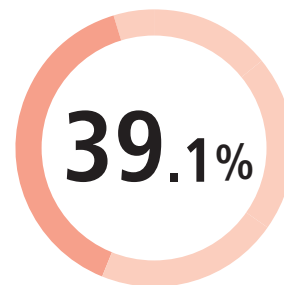


即席麺部門

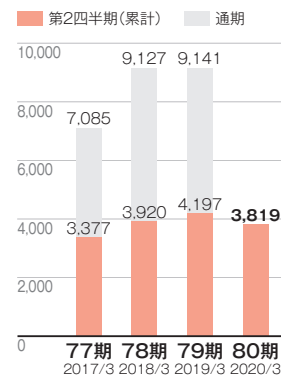
即席麺部門は、カップ麺の受託が減少し、売上高は3,819百万円(前年同期比9.0%減)、セグメント利益は121百万円(前年同期比25.9%減)となりました。



売上構成比



セグメント売上高

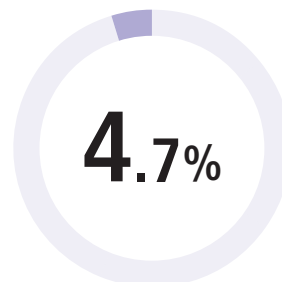


その他部門

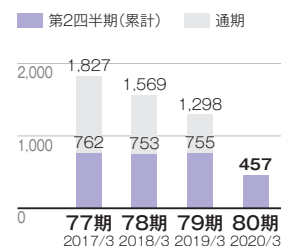
その他は、水産物の取扱量が減少し、売上高は457百万円(前年同期比39.4%減)、セグメント利益は1百万円(前年同期比83.5%減)となりました。



売上構成比



セグメント売上高

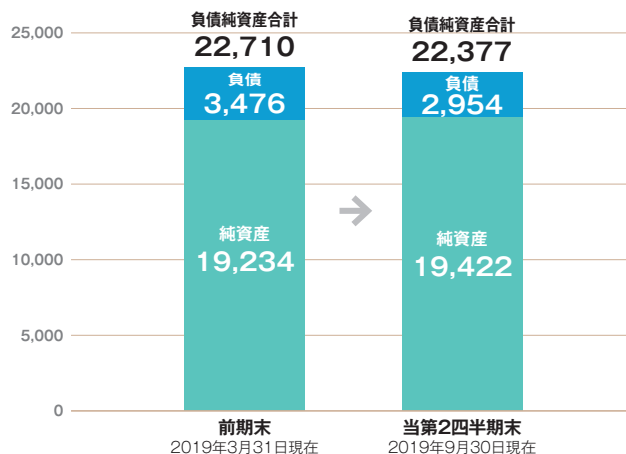
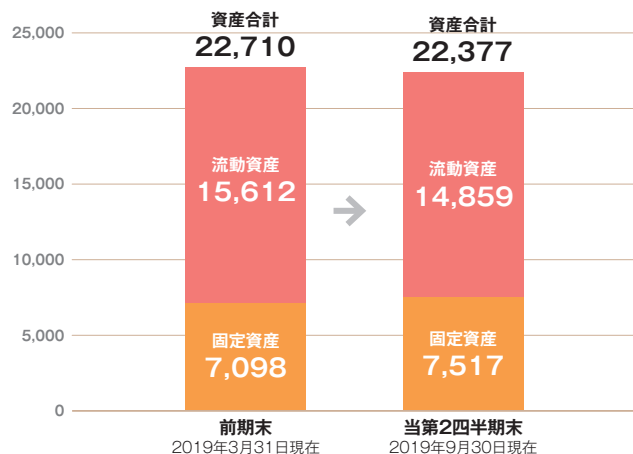


決算の概要

■ 貸借対照表の概要

(単位：百万円)

(単位：百万円)



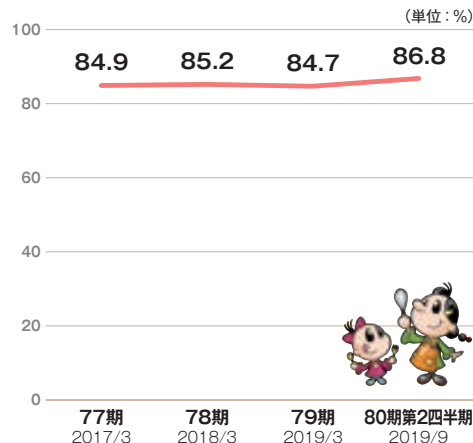
■ 財政状態について

当第2四半期会計期間末における資産の部は22,377百万円となり、前事業年度末と比べ333百万円減少しました。これは主に、流動資産において現金及び預金が728百万円、売掛金が139百万円、固定資産においてその他(純額)が588百万円減少し、建物(純額)が647百万円、機械及び装置(純額)が425百万円増加したことによるものであります。

負債の部は2,954百万円となり、前事業年度末と比べ521百万円減少しました。これは主に、流動負債においてその他が426百万円、未払法人税等が166百万円減少したことによるものであります。

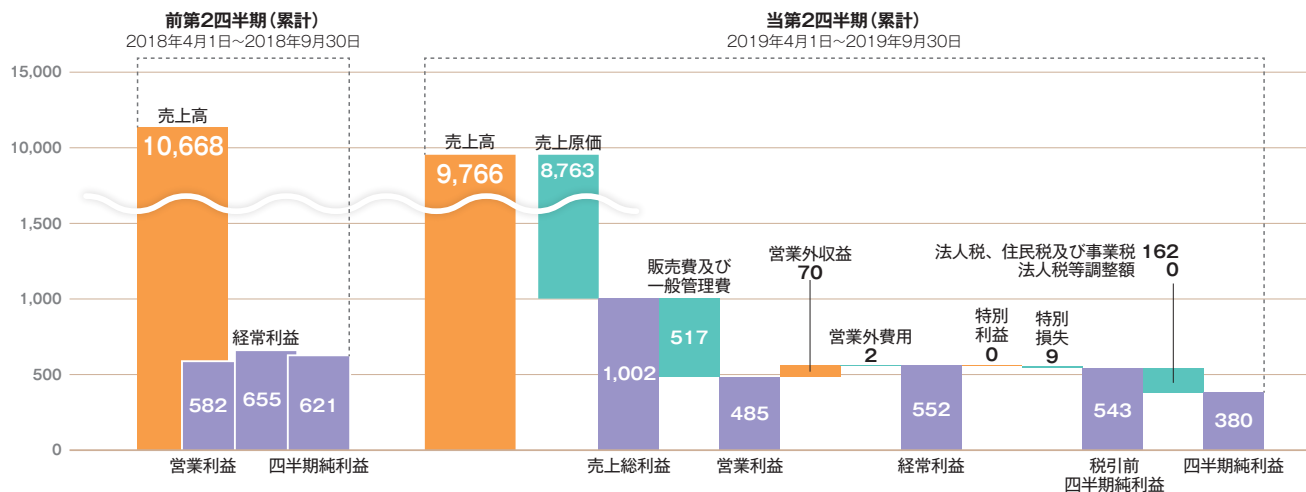
純資産の部は19,422百万円となり、前事業年度末と比べ187百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が241百万円増加し、その他有価証券評価差額金が53百万円減少したことによるものであります。

■ 自己資本比率の推移



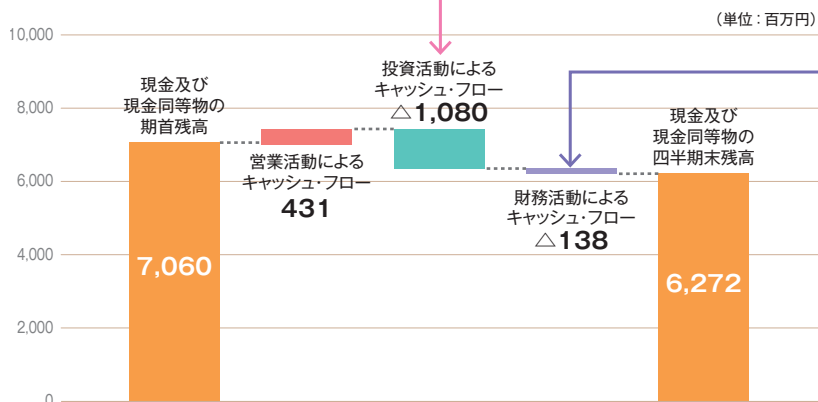
■ 損益計算書の概要

(単位: 百万円)



■ キャッシュ・フロー計算書の概要

当第2四半期(累計)
2019年4月1日~2019年9月30日



投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,080百万円(前年同期は170百万円の資金の獲得)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,011百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は138百万円となり、前年同期と比べ0百万円(0.1%)の支出減となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

鳥取新工場竣工

本年7月、鳥取工場(鳥取県境港市)に粉粒体食品製造を主体とした新工場を竣工しました。

お客様に安心・安全な商品をお届けするため、徹底した品質管理のもと更なる拡充を図ってまいります。



新規造粒機



鳥取新工場

「だし取り職人」シリーズに 「こんぶだし」が

新登場!

香り豊かな花削りに真昆布と利尻昆布をブレンドした味わい深い旨みのこんぶだしです。



「だし取り職人」シリーズ

ご家庭のお好みに合わせて使い分けられる
万能だしシリーズ



「だし取り職人」シリーズは、
パックのまま煮出しするだけで
簡単にできあがります。

●ユタカフーズオンラインショップアドレス●

<http://yutakafoods.co.jp/shop/>

会社概要

(2019年9月30日現在)

■ 当社の概要

創 立	1944年10月21日
資本金	1,160百万円
本 社	〒470 - 2395 愛知県知多郡武豊町字川脇34番地の1
電 話	0569 - 72 - 1231 (代表)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市販用及び業務用の液体調味食品及び粉粒体食品等の製造販売 ・マルちゃん製品の液体調味食品、粉粒体食品、チルド食品及び即席麺等の受託製造

★ユタカフーズの最新情報はホームページをご覧ください。

<http://www.yutakafoods.co.jp>

ユタカフーズ 検索

■ 役 員

代表取締役社長	橋本 淳
代表取締役常務	香川 崇弘
取 締 役	牧 清忠
取 締 役	大茂 為継
取 締 役	中村 好伸
常勤監査役	奥田 裕治
監 査 役	津田 明人
監 査 役	石川 吏志

■ 事業所・工場



株式情報

(2019年9月30日現在)

株式の状況

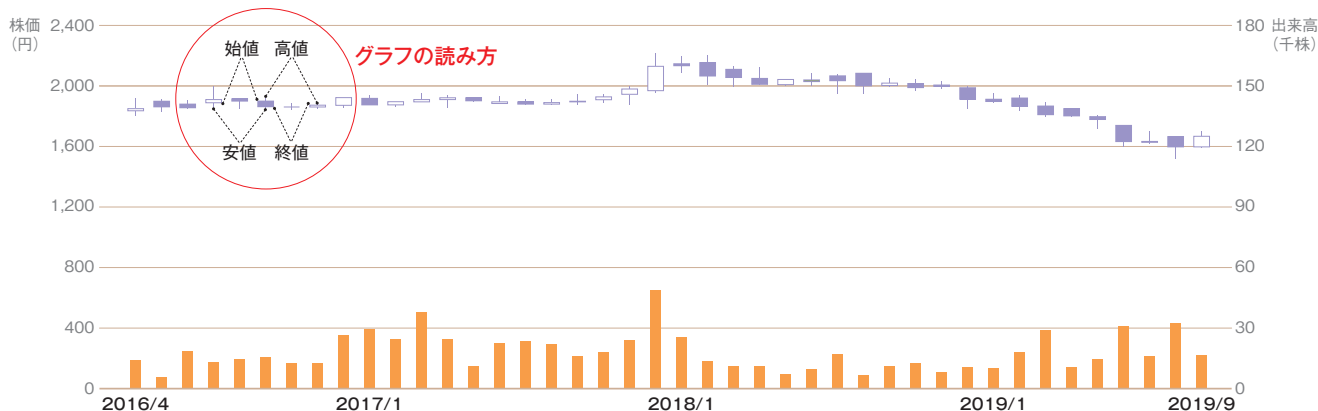
発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式の総数(自己株式1,883,906株を除く)	6,948,405株
株主数	2,286名
単元株式数	100株

大株主

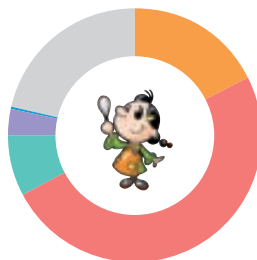
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋水産株式会社	3,533	50.85
MSIP CLIENT SECURITIES	270	3.88
株式会社榎本武平商店	210	3.02
ユタカフーズ従業員持株会	203	2.92
株式会社三菱UFJ銀行	101	1.46
株式会社三井住友銀行	101	1.45
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	93	1.33
株式会社愛知銀行	85	1.22
大樹生命保険株式会社	80	1.15
焼津水産化学工業株式会社	76	1.09

(注)持株比率は自己株式(1,883,906株)を控除して計算しております。

株価・出来高の推移

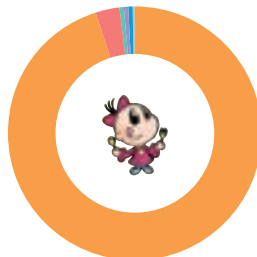


株式の分布



所有者別株式分布

個人その他	1,567千株	17.75%
その他国内法人	4,391千株	49.72%
金融機関	673千株	7.62%
外国人	295千株	3.35%
証券会社	20千株	0.23%
自己名義株式	1,883千株	21.33%



株主構成

個人その他	2,172名	95.01%
その他国内法人	71名	3.11%
金融機関	11名	0.48%
外国人	13名	0.57%
証券会社	18名	0.79%
自己名義株式	1名	0.04%

■ 株主優待のご案内

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された100株以上所有の株主様へ、株主優待として自社製品を贈呈しております。

100株以上500株未満所有の株主様

800円相当の自社製品

500株以上1,000株未満所有の株主様

1,500円相当の自社製品

1,000株以上3,000株未満所有の株主様

2,500円相当の自社製品

3,000株以上所有の株主様

4,000円相当の自社製品



株主優待品例



■ 株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社に お問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
未払い配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031 (フリーダイヤル)	

■ 株式に関するお知らせ

※ 単元未満株式の買取について

単元未満株式（100株に満たない株式）の買取を請求することができます。

当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」をご利用いただけます。

買取制度 例…当社株式を120株保有の場合

120株
お持ちの
株式

単元未満株式を
市場価格で買い取ります

20株

100株
単元株式
(売買可能)

※ 配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払の都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
[基準日] 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

